

PQS ワークショップ（第 5 回、熊本県（熊本保健科学大学））に参加して（2023.01.30）

厚生労働科学研究「GMP、QMS 及び GCTP のガイドラインの国際整合化に関する研究」（代表研究者 櫻井信豪 教授（東京理大））として、PQS（医薬品品質システム）ワークショップ（PQSWs）が、熊本保健科学大学にて多くの参加者を迎えて実施されました。

PQSWs は、講演とグループディスカッションから構成されています。

講演により GMP、特に PQS に関する理解を深め、グループディスカッションでは、少人数（5 名程度）のグループを作り PQS に関連する情報共有や議論を行い、各々が抱えている課題の解決のヒント等を得ることを目的としていました。

日薬連品質委員会の役割は、グループディスカッションのファシリテータの一員とし、これまでの経験を活かしてディスカッションでお役に立つことであり、5 名が参加しました。

今回のグループディスカッションは、WEB 形式の設定は無く全て会場内で行われました。Face to Face で実施したことで参加者間のアイスブレイクが短時間で進み、コミュニケーションが上手く成立し、熱のある議論が行われたと感じることが出来ました。

参加者は講演で貴重なお話で学び、グループディスカッションで普段、取引関係の無い企業間で意見交換が出来たことは、かなり刺激のある場であったと思います。また参加者からも同様の声を生で聞くことが出来ました。

そして品質委員会のメンバーは、ファシリテータでの参加でしたが、むしろ学ぶことが多い時間でした。

最後になりますが、有意義な時間を作って頂いた 本ワークショップに関係された皆様に感謝いたします。